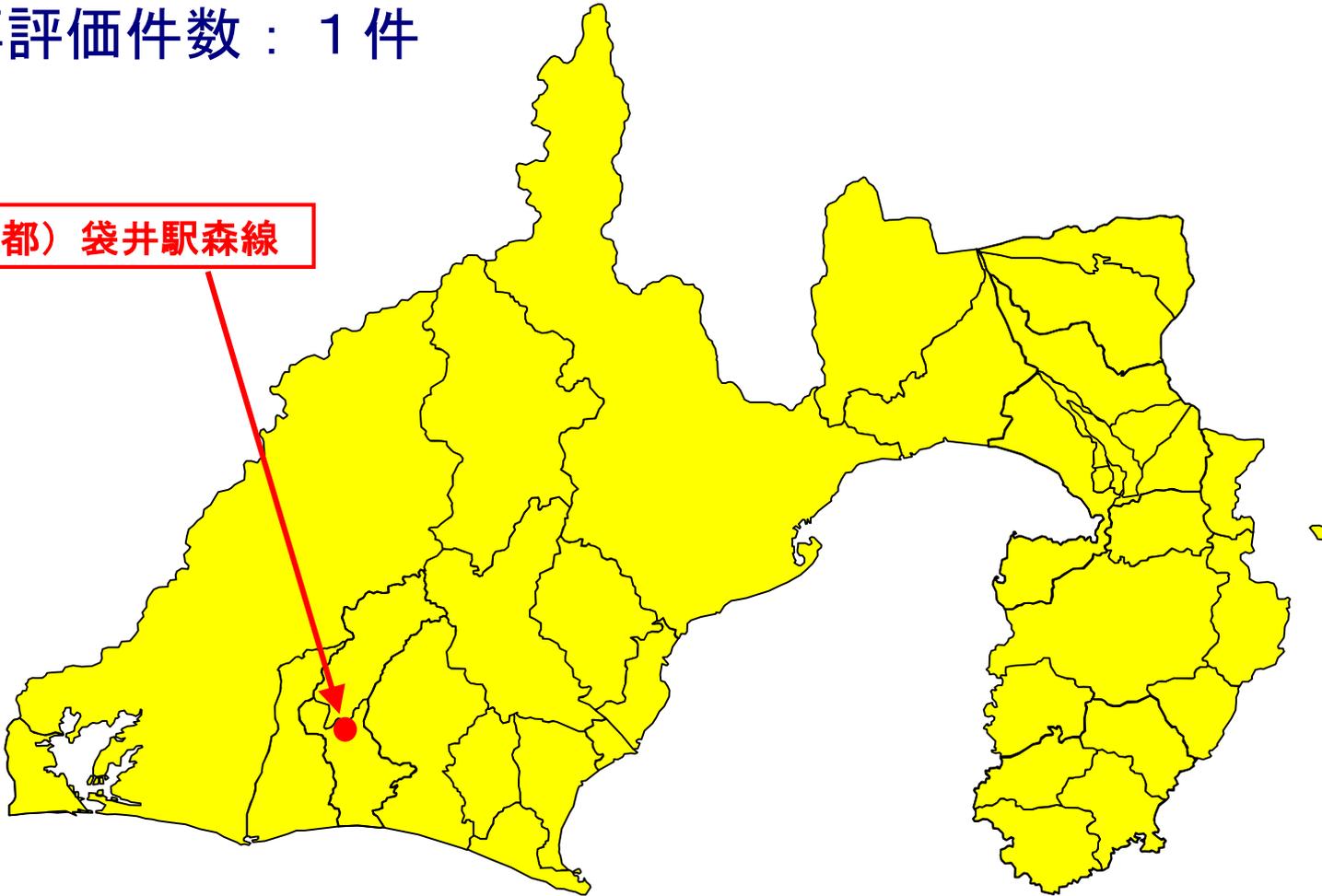


都市局 再評価実施箇所 位置図

再評価件数：1件

(都) 袋井駅森線



平成29年度

都市計画道路 袋井駅森線

事業再評価

静岡県 交通基盤部 都市局 街路整備課

計画平面図・標準横断面図

【事業概要】

計画延長 : 428m

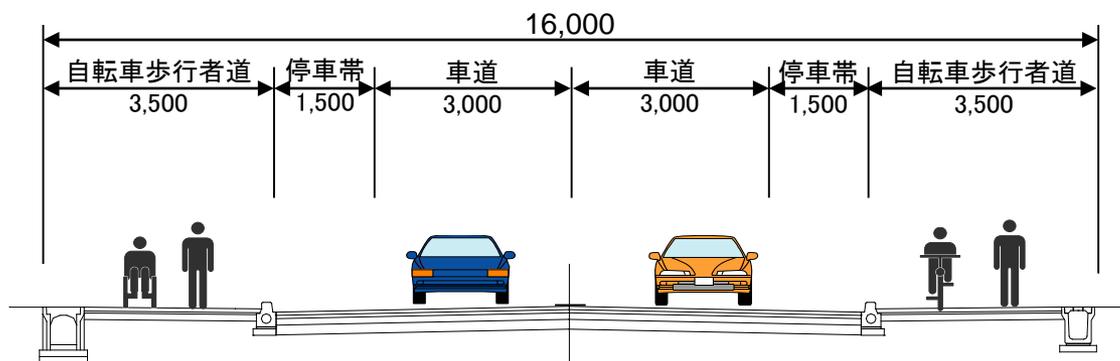
道路幅員 : 16.0m

計画期間 : 平成25年度

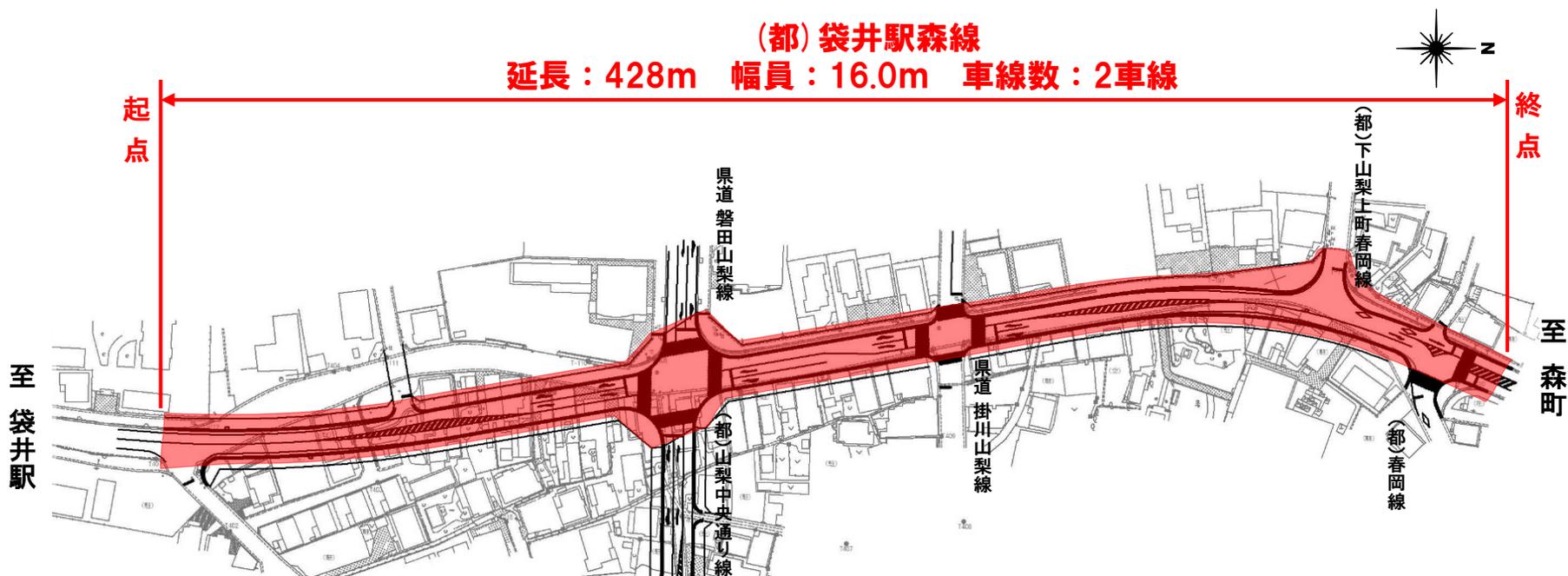
~平成31年度

全体事業費: 1,230百万円

標準横断面部(一般部)



(都) 袋井駅森線
延長: 428m 幅員: 16.0m 車線数: 2車線



周辺の道路状況①

- 県道との交差点が2つ近接しているため、交通量の増加により、朝夕を中心に交通渋滞が発生



交差点が連続していることから、交通が集中し渋滞が発生

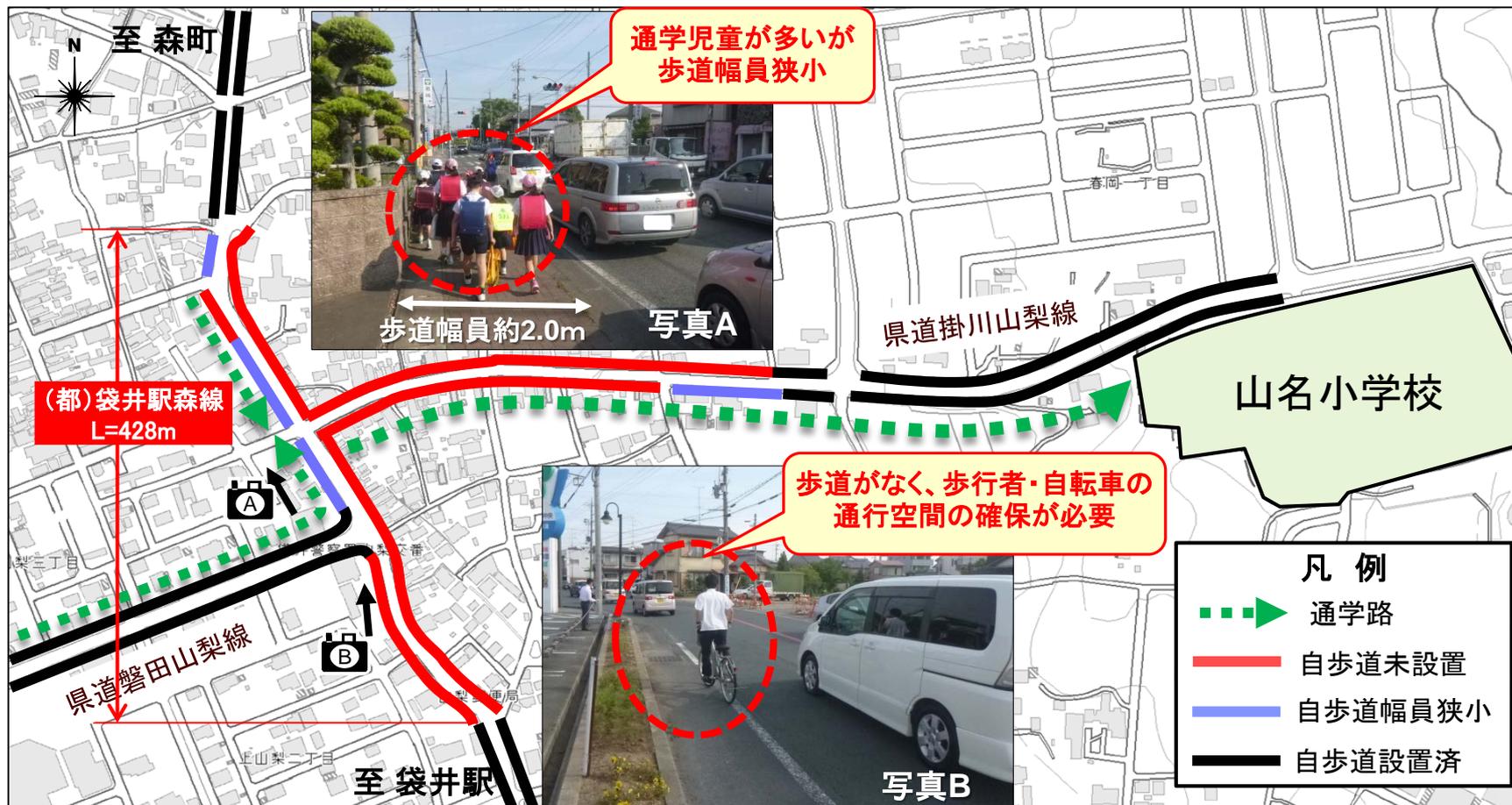
(都)袋井駅森線
① 県道磐田山梨線との交差点付近

(都)袋井駅森線が渋滞しているため、県道掛川山梨線でも渋滞が発生

(県道 掛川山梨線)
② (都)袋井駅森線との交差点付近

周辺の道路状況②

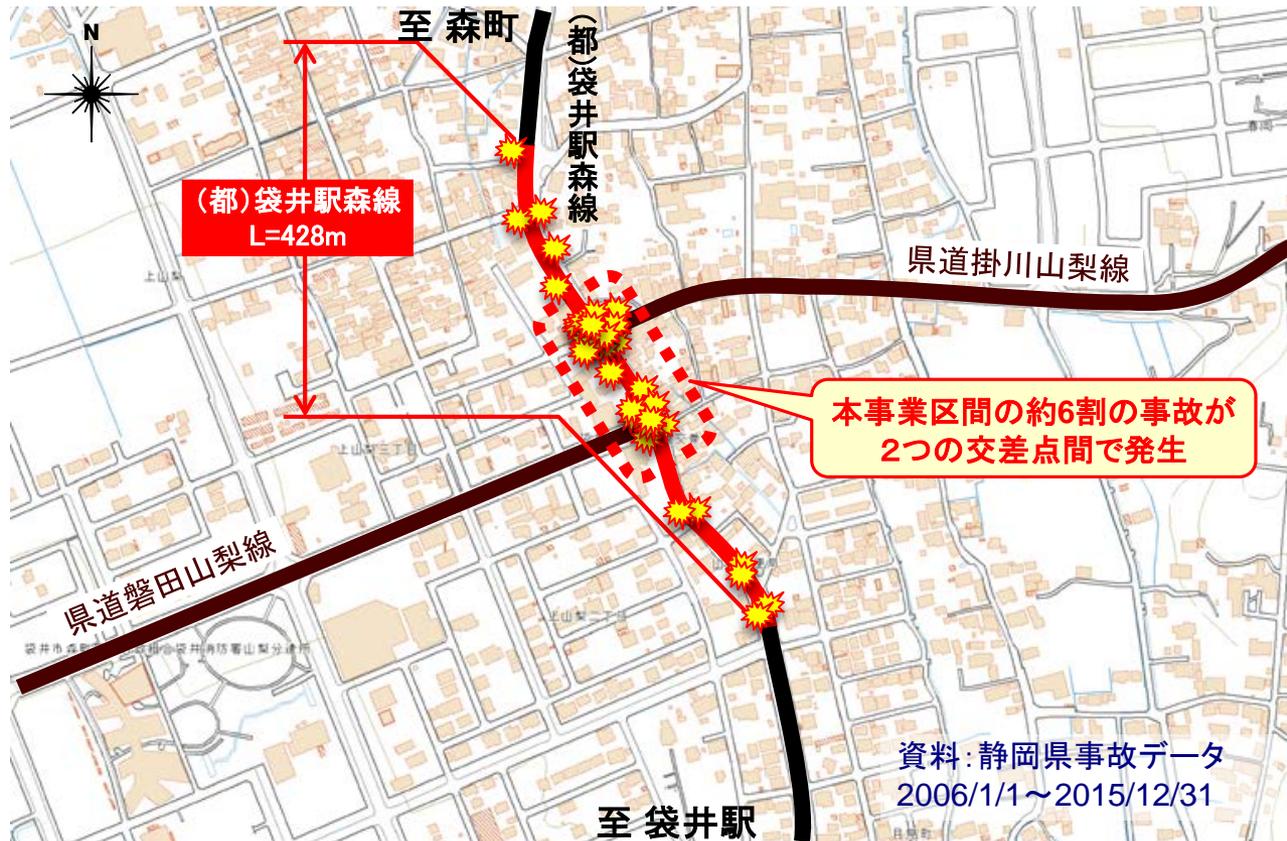
- 自転車・歩行者通行の安全性向上(通学路の確保)が課題



周辺の道路状況③

【交通事故発生状況】

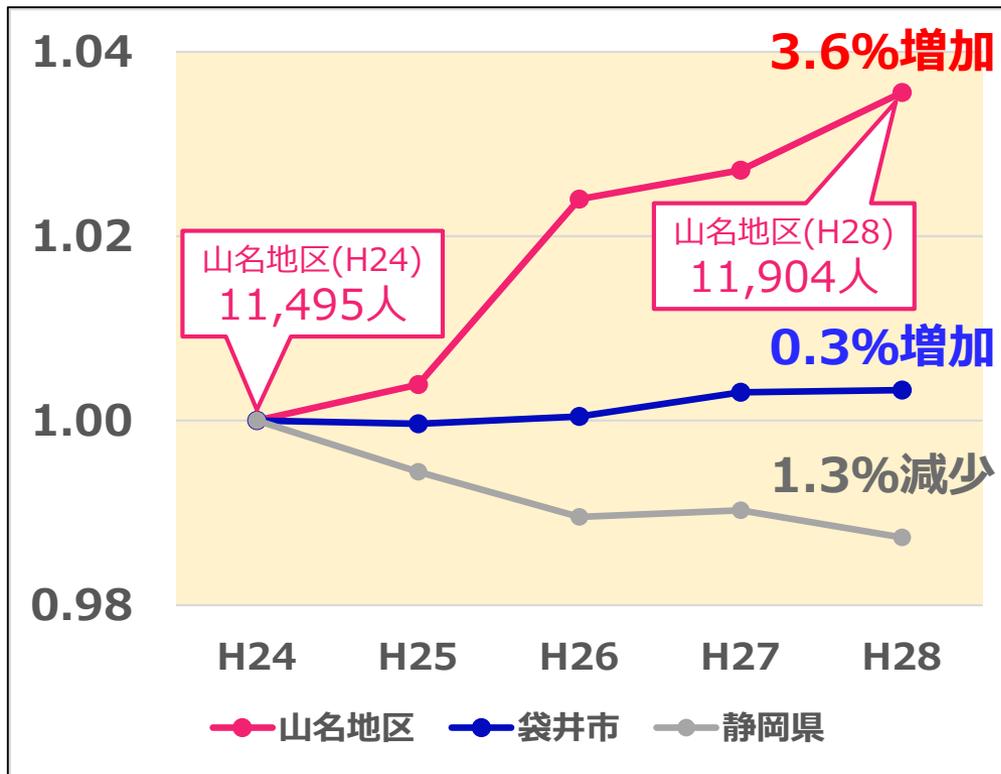
- 本事業区間で発生した最近10年間の交通事故39件
- このうち県道掛川山梨線、磐田掛川線との2つの交差点間で発生した事故が約6割を占める。



事業を巡る社会情勢の変化①

- 静岡県全体人口が減少する中、袋井市の人口は増加傾向
- 本事業区間の位置する山名地区の伸び率は、袋井市全体の伸び率を大幅に上回り、周辺では市内有数の市街地が形成されている。

本事業区間周辺の人口推移（H24年を基準とした場合の人口推移）



出典：静岡県・袋井市統計



出典：国土数値情報

関連事業の整備状況

- (都)袋井駅森線の整備は、袋井市が施行する(都)山梨中央通り線の街路整備事業及び袋井市上山梨沿道整備土地区画整理事業と連携し、一体的に整備を実施

関連事業位置図(都市計画道路・沿道整備土地区画整理事業)

(都)袋井駅森線

施行主体: 静岡県
施行延長: L=428m
幅員: W=16m

(都)山梨中央通り線

施行主体: 袋井市
施行延長: L=330m
幅員: W=16m

袋井市上山梨沿道整備 土地区画整理事業

施行主体: 袋井市
施行面積: 2.2ha

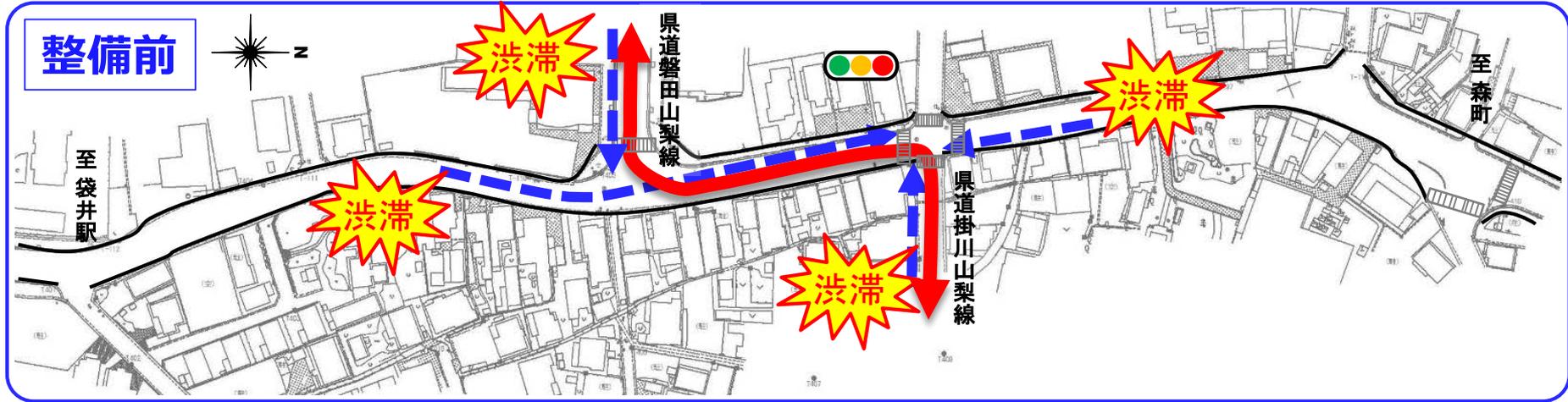


凡 例

- 街路事業 (県)
- 街路事業 (市)
- 土地区画整理事業 (市)

道路整備効果①

- 袋井市施行の(都)山梨中央通り線と一体的に整備することで、クランク形状となった交差点を解消し、自動車交通の円滑化を図る。



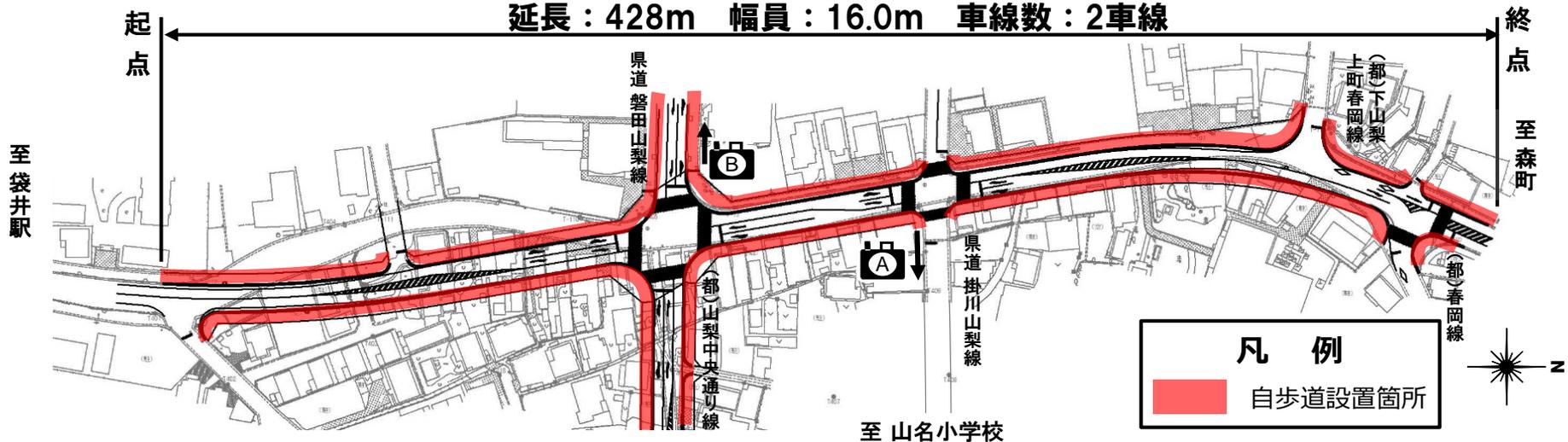
道路整備効果②

- 自歩道の整備により、自転車・歩行者の安全な通行を確保。



(都) 袋井駅森線

延長：428m 幅員：16.0m 車線数：2車線



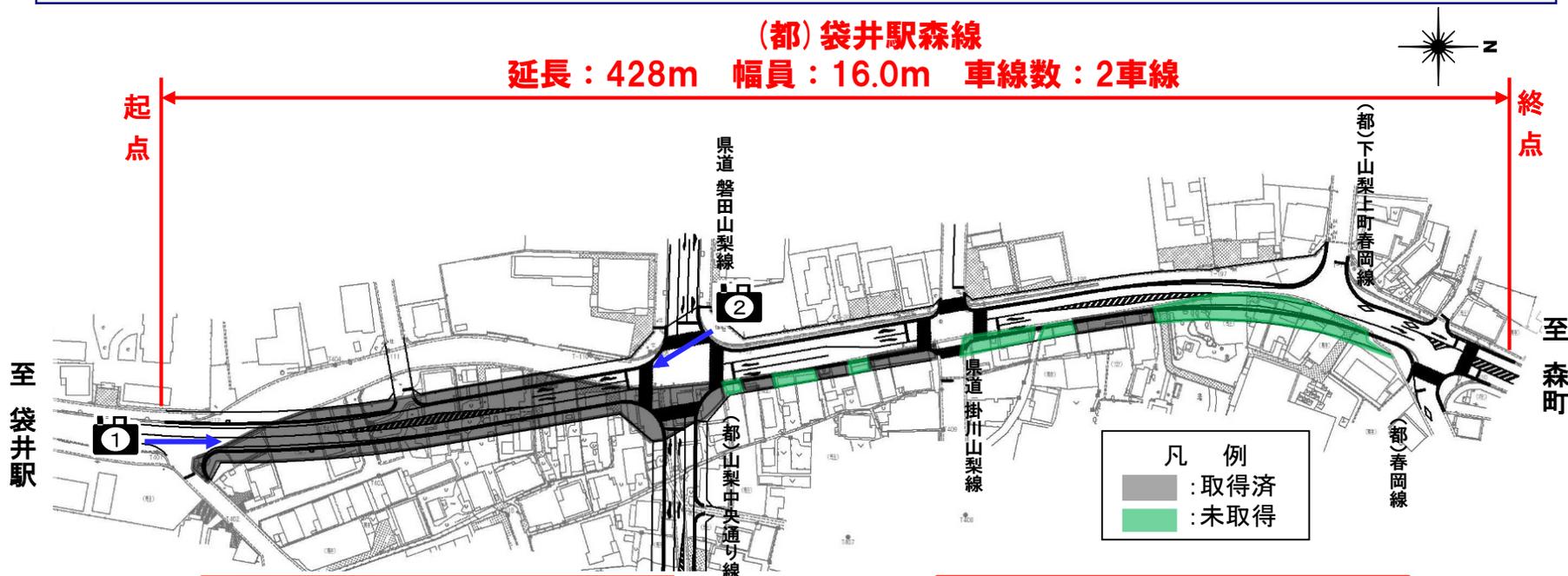
事業の投資効果

費用便益比: B / C = 1.12

総便益(B)の現在価値	13億円
走行時間短縮便益	9.8億円
走行経費減少便益	3.2億円
交通事故減少便益	0.07億円
総費用(C)の現在価値	12億円
事業費	12億円
維持管理費	0.20億円
用地残存価値	-0.22億円

注1) 総便益及び総費用の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しない

事業の進捗状況(用地補償)



①用地取得状況

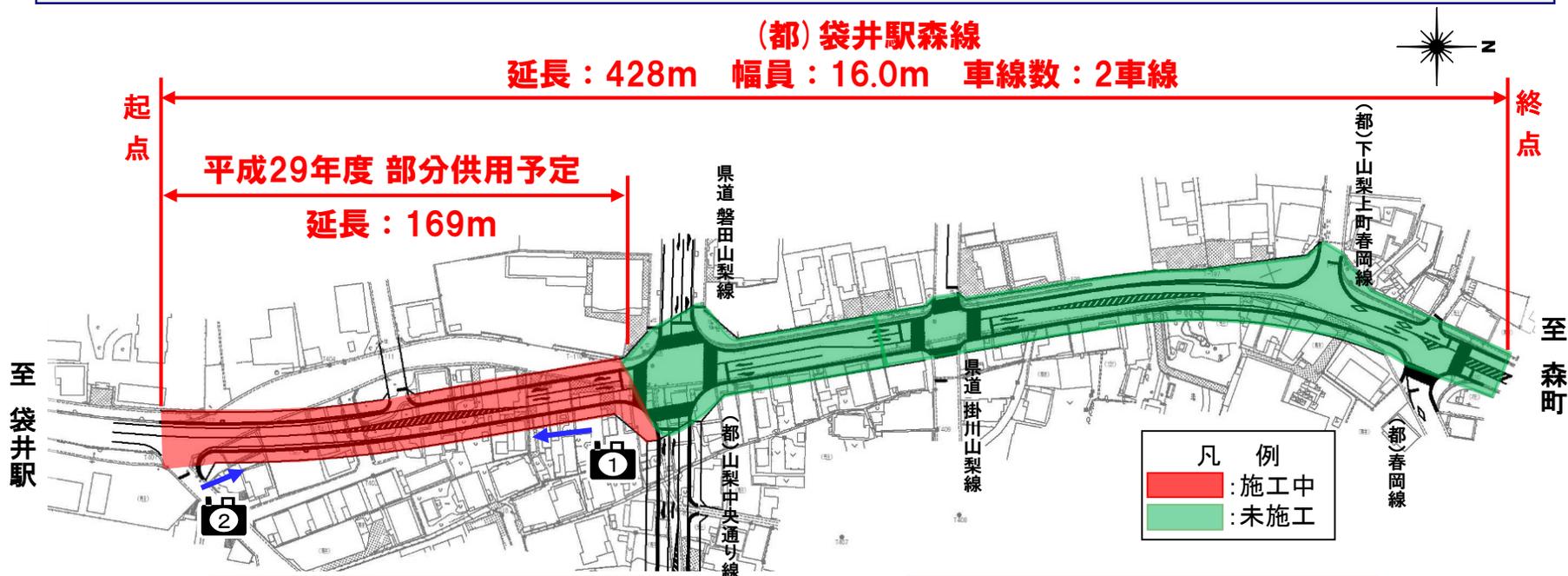


②用地取得状況



用地面積ベース：63.6%（平成29年度末見込み）・・・地権者同意100%

事業の進捗状況(工事)



①工事進捗状況



②工事進捗状況



事業費ベース：55.6% (平成29年度見込み)

今後のスケジュール(関連事業との調整)

		年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
		事業期間								
県事業	用地補償									
	工事									
袋井市事業	(都)山梨中央通り線									
	袋井市上山梨 沿道整備 土地区画整理事業									

(平成31年度末)
供用予定

対応方針(案)

- 市街地内の交通円滑化
- 自転車・歩行者通行の安全性向上(通学路の確保)



機能的な都市活動と
安全で快適な都市生活に資する街路事業



事業を継続し早期完成を図る

参考

《参考》沿道整備街路事業について

- 街路事業に土地区画整理事業を組み合わせ、地権者の意向に沿う形で残地の処理を行うことで、用地取得の推進と良好な沿道市街地の形成を図る。
- 事業着手には、区域内の関係地権者全員の合意が必要

【ステップ1】

沿道区域内の転出希望者から土地を買収します。



【ステップ2】

取得した用地を都市計画道路区域内の残留希望者の土地と玉突きで移動します。



【ステップ3】

何段階かの玉突きによる土地の移動を行い、最終的に都市計画道路及び区画道路の用地を確保します。

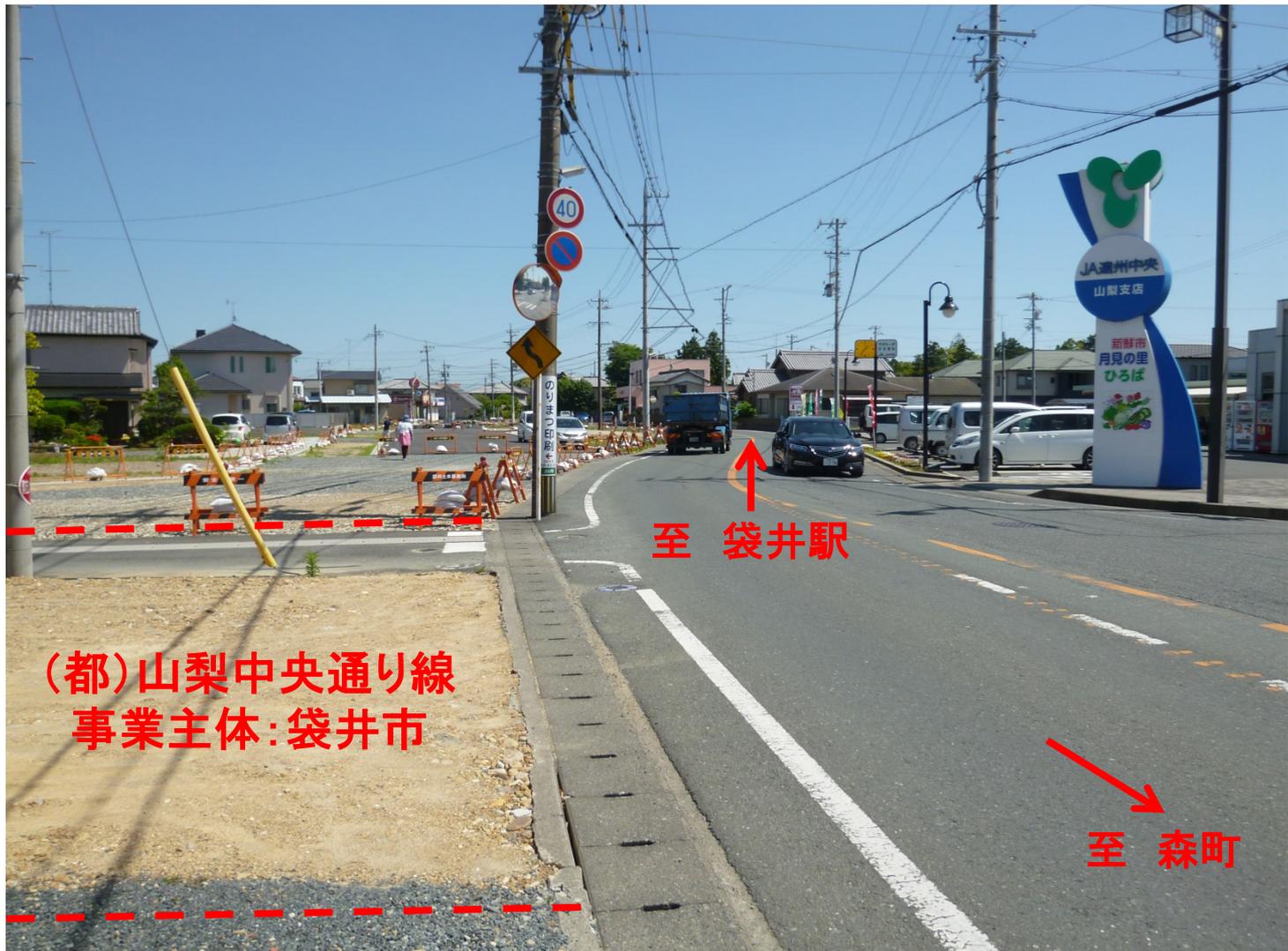
沿道整備街路事業の事業イメージ



現地写真①(起点付近) H29供用開始予定箇所



現地写真②(中間点付近) (都)山梨中央通り線との交差箇所



現地写真③(終点付近) 線形・見通しが悪い箇所

